

学校と家庭・地域をつなぐ学校だより

# はぐくみ



令和6年

7月2日

第12号

松葉小学校

## 温かいお言葉ありがとうございます（授業参観）

6月14日に授業参観が行われました。今年度は、どのクラスも道徳で「命」についての授業をしました。生きていることの尊さや命を大切にすることについて、各学年で授業を考えて実践しました。子どもたちは真剣に授業に取り組んでおり、命について考えるきっかけとなりました。

以下に参観して下さった保護者の皆様の感想を抜粋して掲載します。保護者のかたの温かい言葉に、担任は大変励まされました。ありがとうございました。

「命」についてのテーマでしたが、自宅では生き物を飼っていないため、子どもたちにとって「命」を考えるよい機会であると感じました。積極的に挙手をしていたり、周りの人とのディスカッションで自分の考えを発信したりしている姿を見ることができ、成長を感じました。イラストや動画など、子どもたちが飽きないような工夫がされていてよりわかりやすい授業でした。自宅でユーチューブを見ることはありませんが、動画も内容によっては知識を増やせるものであると気づきました。（1年保護者様）

「命」について考えることができたと思います。自転車が欲しかったけど、少し怖くなったとも話していました。今回の授業は、命の大切さを再確認するよいきっかけとなったと思います。死んでしまったら、パパ、ママ、お友達とも会えなくなるから気をつけないといけないと注意しました。授業では、教科書が映像で見られて、話の内容がわかりやすく思えました。（2年保護者）

授業中、クラスのほとんどの子が手を挙げて発言しがっている様子を見て、みんなとても積極的に授業を受けていると感心しました。ふざけながらも先生の話をよく聞いていて、自分なりの答えを発言していても面白いと思いました。「自分にとって大切なもの」という問いは、なかなか家では聞くことのないもので、大人に聞いたらすぐに答えることができるのか少し不安になるような問題でしたが、子どもながらの答えがあったり、感心するような答えがあったりして、考え出す力が低学年のころよりも立派に成長しているように思えました。（3年保護者）

4年生になり初めての授業参観でしたが、3年生とは異なり、授業の内容が少しずつ“考えること”に重点を置いていくのだなと思いました。命の大切さについて授業の中でも考える機会をもつことはとても大切だと思いました。また、他の子どもたちの考えを聞けるのもよかったです。手を挙げて発言している姿はとても頼もしくもあり、これからも自主的に取り組んでいってほしいと思います。（4年保護者）

「命」についてクラスで考えるというとても難しいテーマで「精一杯生きるとはどういうことか」と考えた時、大人でもすぐに答えられないようなことなのに、クラスの子たちはすぐに考えて挙手をしている姿はすごいと思いました。「命」とは、病気や障害になって改めて本当に大切だと気づくことが多いですが、今では生きづらさで簡単に命を落としてしまう子どもが多い気がします。今回は子どもたちが命の大切さをもう一度確認できるいい授業になったと思います。（5年保護者）

自分の誕生日がどういう日かということについてみんなで考えるという道徳の授業でしたが、ふだん自分の誕生日について深く考えるということはないので、子どもたちそれぞれがいろいろな立場で考えて意見を出し合えてよかったと思います。挙手をしてしっかり意見を言えたり、班ごとに話し合っって意見をまとめたりと積極的に参加していて、さすが6年生だなと感心しました。これからもみんなで協力してSMILEあふれる素敵なクラスにしてほしいです。（6年保護者）

先生が子どもたちだけでなく、私たち保護者にも授業をしているようで、楽しい気持ちになりました。子どもたちの素直な気持ちに途中で心が温かくなりました。人数が少ないとはいえ、集中力が切れた子どもにも声掛けをしながら授業をされていて感心しました。ありがとうございました。また、次回楽しみにしております。（4. 5. 6組保護者）